

飲食料品
卸売業

いくつもの工夫を積み重ねて
“選ばれる人参”に。

平野青果株式会社

平野青果株式会社

長崎県諫早市飯盛町開32-4
TEL/0957-48-0850
FAX/0957-48-0189
HP/https://seikabutsu.jp/
MAIL/info@seikabutsu.jp

代表取締役/平野幸助
設立/2014年11月4日
資本金/9,000,000
業種/飲食料品卸売業
従業員数/4名



昭和46年創業。長崎特産の人参を主に九州で青果用・加工用として販売している。契約農家への土づくりの相談、収穫支援など人参の栽培から携わり、洗浄・選果・出荷までを行う。リアルタイムで栽培履歴・残留農薬の一例が分かるように、段ボールにQRコードを記載したり、選別機能システムを駆使し、入数を安定させたりするなど、いくつもの「選ばれる工夫」を実践。近年ではSDGsにも取り組んでいる。

事業のテーマ

ニーズを捉えた人参の品質向上を図り 商圏の拡大を目指す取り組み

事業のきっかけ

商圏の拡大を図り、競争力を高めるためには、人参の品質向上（保存期間の延長化）を実現し、遠方への出荷を可能にすることが必要である。加えて、出荷工場の効率性を向上させ、出荷量の増加を可能にすること、人員配置を見直し、買付量（収穫量）の増加を可能にすることも課題であった。

人参の品質向上のためには殺菌に使用している次亜塩素酸の塩素濃度を上げることが求められるが、従来の鉄仕様の水槽では錆びてしまう。そこでステンレス仕様への変更を検討した。

事業内容・成果

今回導入したのは「人参洗浄選別省力化設備一式」。殺菌層がステンレス仕様になったことで、塩素濃度を従来の15ppmから30ppmに上げることに成功。その結果、人参に含まれる生菌数が大幅に減数し、保存期間が延長できた。また「小玉抜き機」の導入により、これまで目視で手選別していた工程を自動化。工程速度の向上と人員配置の改善はもちろん、小玉の混入リスクが減り、品質の向上につながった。

さらに選果後の箱詰め・捺印工程に関して「整列Vコンベア」「自動箱詰め機」「自動捺印装置」の導入により、当工程が自動化され、工程速度の向上と人員配置の改善が実現した。

今後の展望

今後の課題は、国内産のシェアを広げるために何をすべきかという点にある。将来的にはオゾンのマイクロバブル導入を視野に入れ、さらに「選ばれる人参」を目指していきたい。

ものづくり補助金活用

出荷部門の人員

17人 ▶ 14人

収穫部門の人員

12人 ▶ 15人

出荷部門が効率化することで、収穫部門の強化ができた。さらに就業時間を一時間後倒しにすることができ、働きやすさが実現。雇用にもつながった。人参の長期保存が可能となり、1日あたりの出荷箱数も目標の1450箱を超える1800箱まで見込めた！